即湯ユニット

取扱説明書 保証書付

品名	機器コード	型式名
FソクトウユニットB-1	10-049-29-00745	QU-3

お客様へのお願い

この取扱説明書は、「即湯運転・即湯予約運転」に関する取扱説明書です。給湯暖房用熱源機の取扱説明書と併せてよくお読みになって、正しくご使用ください。

このたびは即湯ユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

＊保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

＊この取扱説明書(保証書付)は給湯暖房用熱源機の取扱説明書と併せていつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SAP8905⑤

SAP8905 T

もくじ

もくじ ……2
各部のなまえとはたらき（システム図）……3

リモコンの品名をお確かめのうえ、それぞれの説明をお読みください

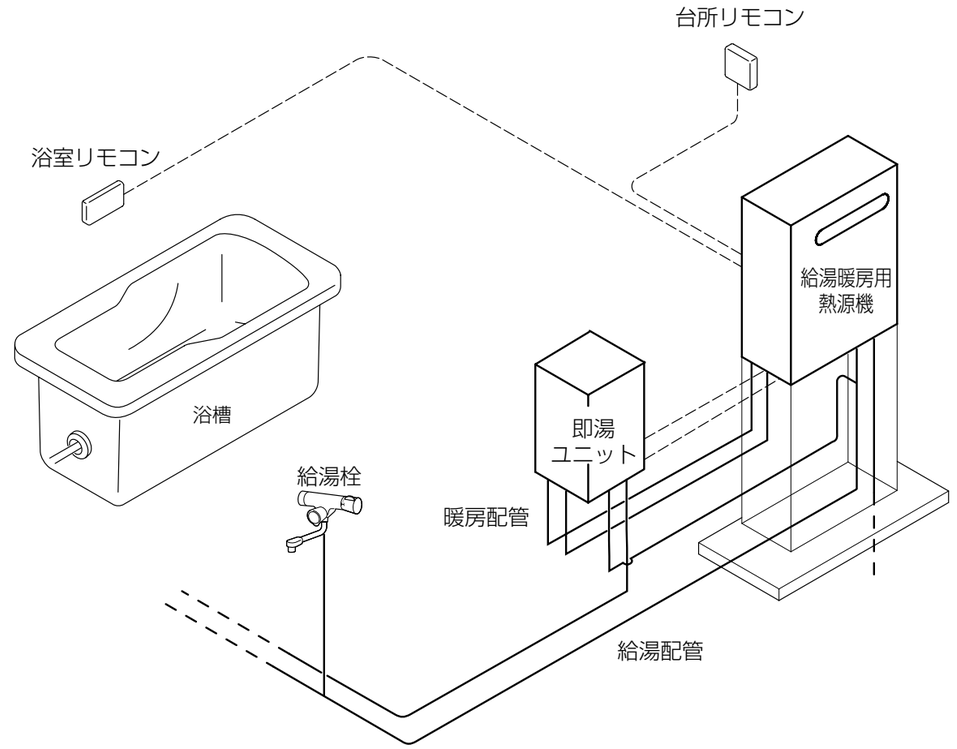
リモコン品名 FKR07シリーズ FSRA07シリーズ をお使いの場合	リモコン品名 FKR04シリーズ をお使いの場合	リモコン品名 FKR-A01シリーズ FSR-A01シリーズ をお使いの場合
使いかた	使いかた	使いかた
各部のなまえとはたらき（リモコン）…… 4	各部のなまえとはたらき（リモコン）…… 12	各部のなまえとはたらき（リモコン）……20
即湯運転する …… 6	即湯運転する …… 14	即湯運転する ……22
即湯運転する時間帯を予約する ＜即湯予約＞‥ 8	即湯運転する時間帯を予約する …… 16	即湯運転する時間帯を予約する ……24

凍結による破損を予防する …… 28
アフターサービスについて …… 30
主な仕様 …… 31
保証書 …… 裏表紙

各部のなまえとはたらき（システム図）

即湯運転とは‥‥

早くお湯が出るように、給湯配管内のお湯をあたため、保温します。



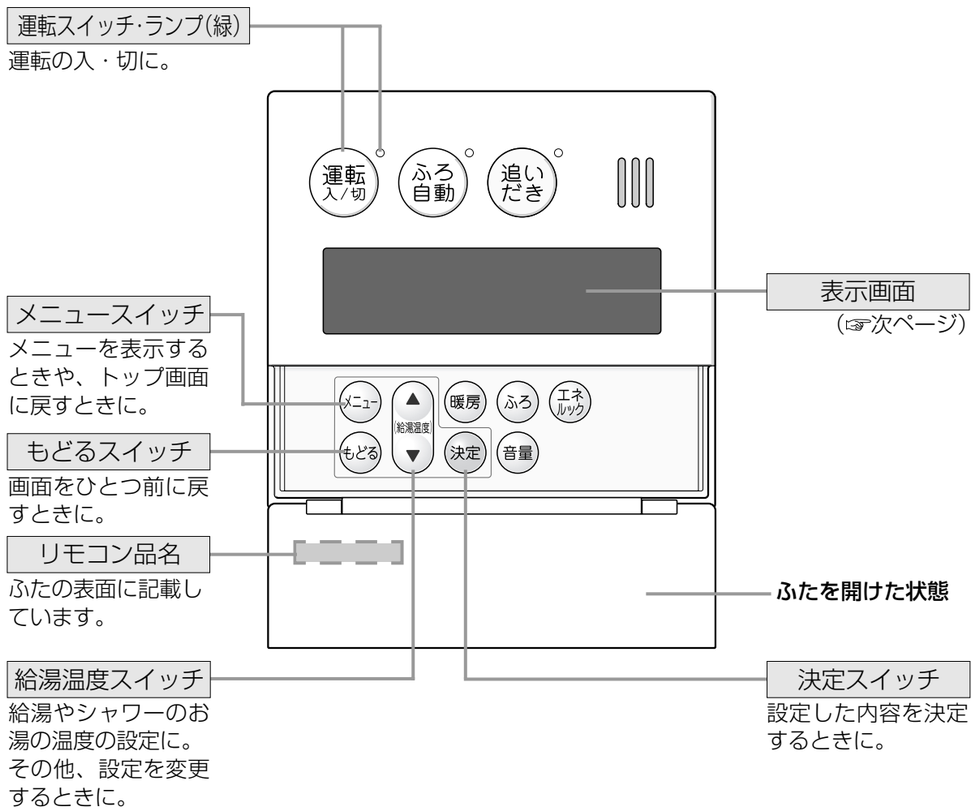
※イラストは実際と異なります。

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

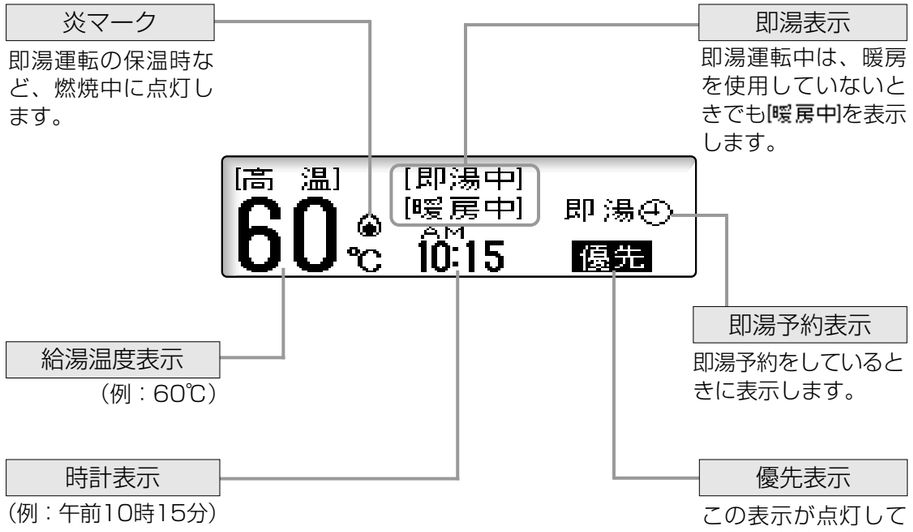
台所リモコン

台所リモコンFKR07A-BDE2JSVで説明します。
※即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。
※リモコンの種類により、スイッチが異なります。
即湯・即湯予約に関するスイッチ以外については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



表示画面

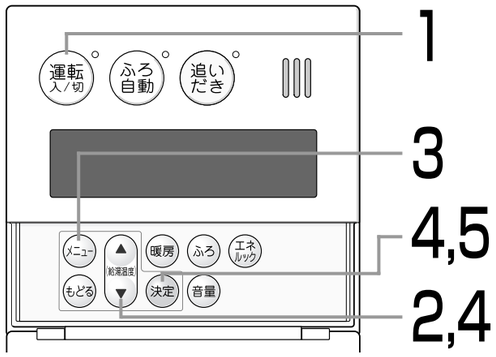
下記の表示画面は説明用です。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた

即湯運転する

【例：台所リモコンFKR07A-BDE2JSV】

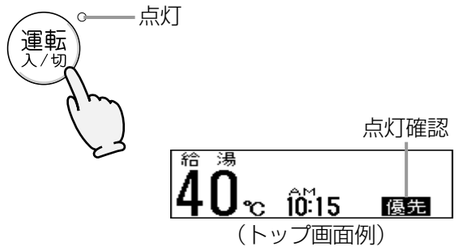


＜お願い＞
即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。
給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、即湯予約をしてください。（☞P8～11）

即湯運転開始後、4時間経過すると自動的に即湯運転は停止します。

＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを「入」にする

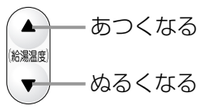


（トップ画面例）

※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。

＜一度設定すると記憶します＞

2 給湯温度が60℃でない場合は60℃にする



※60℃に設定しなければ即湯運転を開始できません。
（手順5 の操作をすると以下の画面になりますので60℃に設定してください）

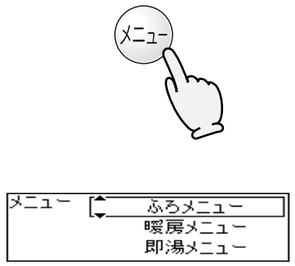
⚠警告

高温注意

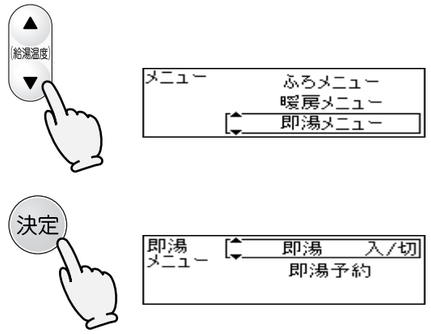
やけど予防のために

即湯運転中は、給湯温度を変更できません。（60℃設定のままです）

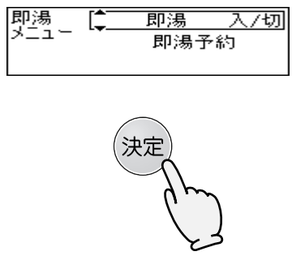
3 ふたの中のメニュースイッチを押してメニュー画面を表示させる



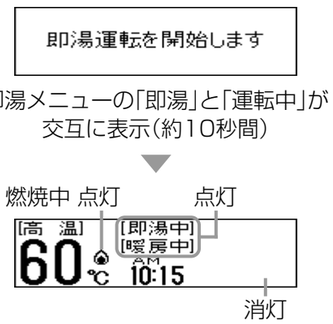
4 給湯温度スイッチで「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す



5 「即湯 入/切」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す

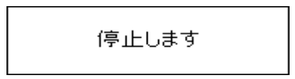


即湯運転開始



即湯運転をやめたいとき

手順3～5をおこなう



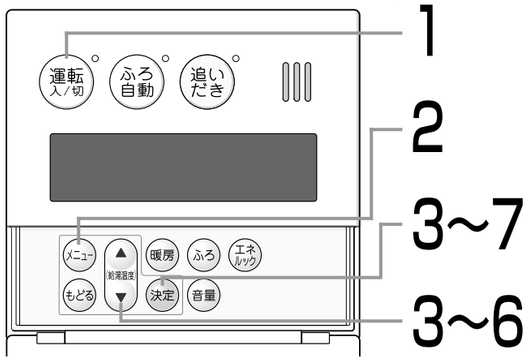
即湯メニューに戻り、約10秒後トップ画面に戻ります。

※お湯の温度は、必ずしも60℃になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯　予約＞-1

【例：台所リモコンFKR07A-BDE2JSV】



あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。（1日に合計8時間まで即湯運転が設定できます）
（時間帯は複数設定できます）
※給湯配管内の保温のため、設定した予約時刻の30分前より即湯運転を開始します。

例：朝5時～朝8時の間、お湯を使いたい場合

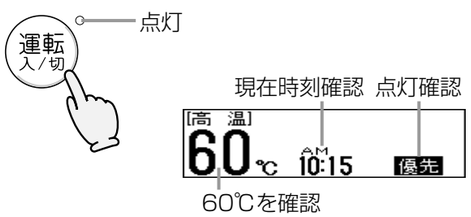
運転前の準備

1．給湯温度が60℃であることを確認する。
2．現在時刻が正しいかどうか確認する。

※給湯温度が60℃になっていないと、即湯運転する時間帯を予約することができません。また、予約中に給湯温度を変更すると予約は解除されます。

＜運転スイッチ「切」のとき＞

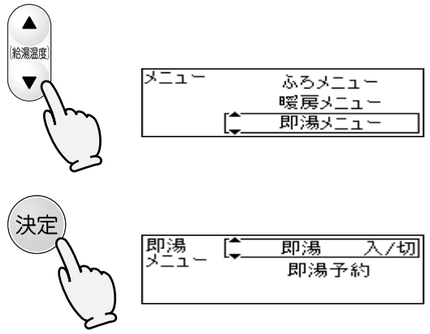
1 運転スイッチを「入」にする



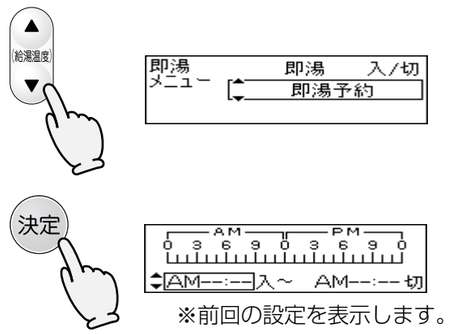
※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

2 ふたの中のメニュースイッチを押してメニュー画面を表示させる

3 給湯温度スイッチで「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す



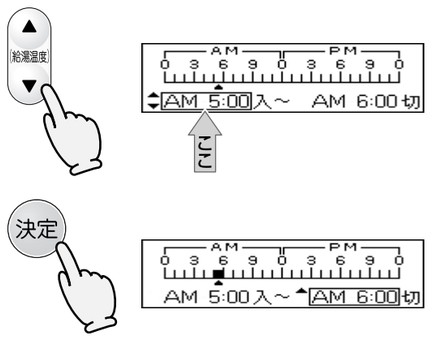
4 給湯温度スイッチで「即湯予約」を選択し、決定スイッチを押す



※前回の設定を表示します。

（次ページへ）

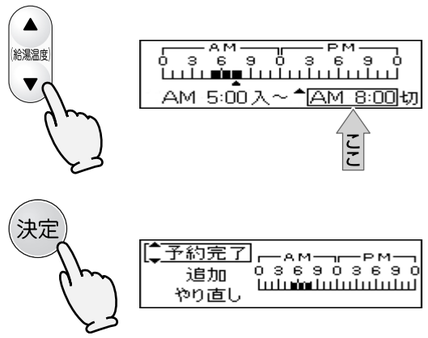
5 給湯温度スイッチで「AM5:00」に設定し、決定スイッチを押す【「入」時刻設定完了】



※一度押すごとに1時間ずつ変わります。

【前回の設定のまま予約する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、手順7の操作をする
【前回の設定に時間帯を追加する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P10「続けて他の時間帯を追加したいとき」の操作をする
【前回の設定を取り消す場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P10「設定をすべてやり直したいとき」の操作をする

6 給湯温度スイッチで「AM8:00」に設定し、決定スイッチを押す【「切」時刻設定完了】



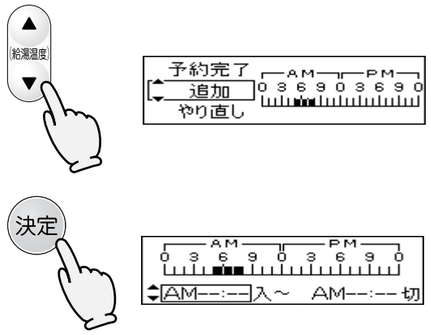
使いかた

即湯運転する時間帯を予約する＜即湯　予約＞-2

（前ページより）
＜必要に応じて設定します＞

続けて他の時間帯を追加したいとき

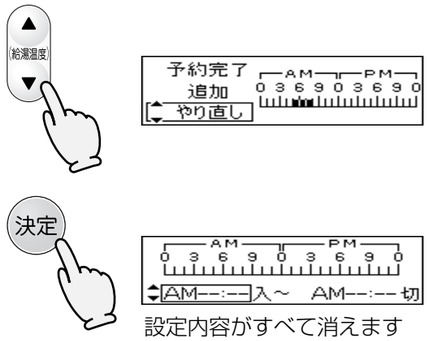
①給湯温度スイッチで「追加」を選択し、決定スイッチを押す



②手順5～6の操作で設定する

設定をすべてやり直したいとき

①給湯温度スイッチで「やり直し」を選択し、決定スイッチを押す

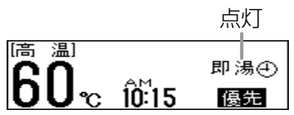


設定内容がすべて消えます

②手順5～6の操作で設定する

7 決定スイッチを押す

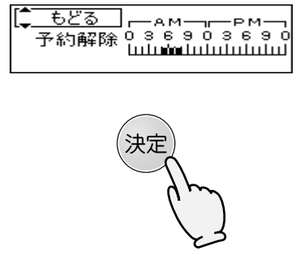
即湯メニューの「即湯予約」と「予約中」が交互に表示（約10秒間）



・決定スイッチを押さなければ予約はされません。
・時計あわせをしていない場合は、時計あわせの画面表示になります。（☞給湯暖房用熱源機または別売品リモコンの取扱説明書「台所リモコンで時計をあわせる」）
・即湯予約を解除（☞P11）しなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

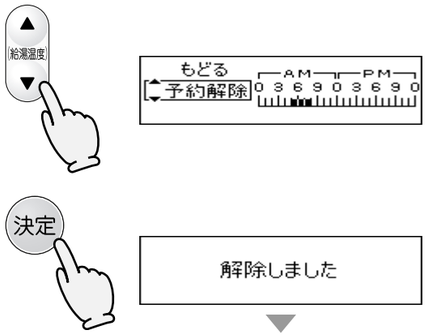
予約時刻の確認

①手順1～4をおこない、確認する
②「もどる」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す



即湯予約を解除したいとき

①手順1～4をおこなう
②給湯温度スイッチで「予約解除」を選択し、決定スイッチを押す



即湯メニューに戻ります

・約10秒後トップ画面に戻ります。
・即湯「入」時刻になってから即湯予約を解除すると、自動で即湯運転を停止しません。必要に応じてP7の手順で即湯運転を停止してください。

予約時刻の変更

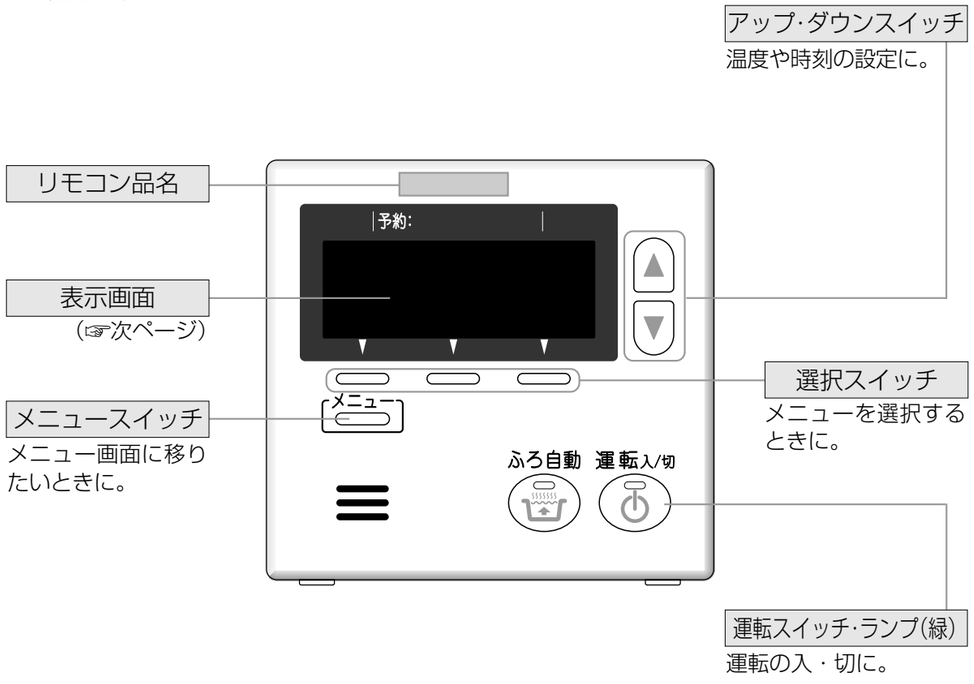
上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

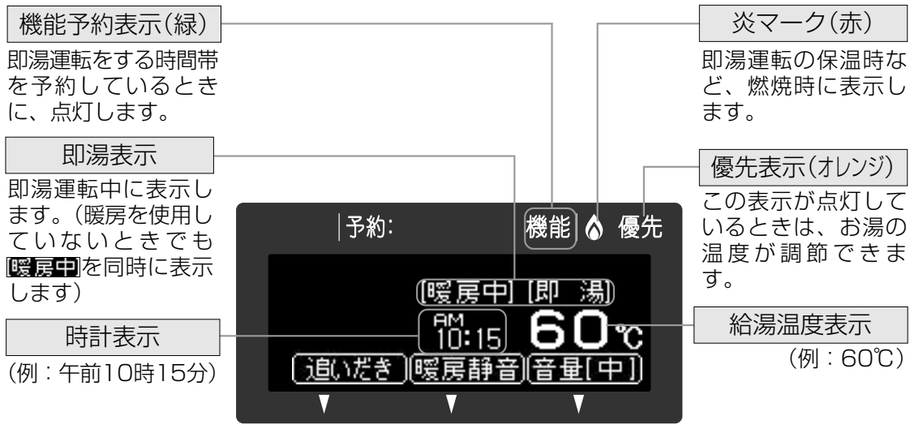
台所リモコン

台所リモコンFKR04A-BDEJMSVで説明します。
※即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。
※リモコンの種類により、スイッチが異なります。
即湯・即湯予約に関するスイッチ以外については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



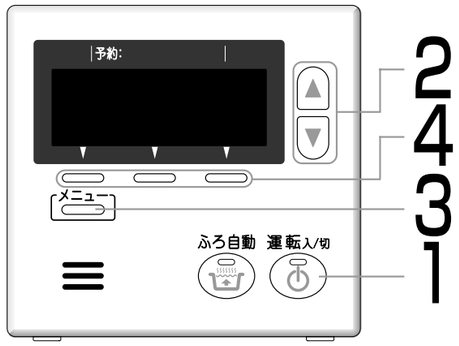
表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた
即湯運転する

【例：台所リモコンFKR04A-BDEJMSV】



＜お願い＞
即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、即湯する時間帯を予約してください。（☞P16～19）

即湯運転開始後、4時間経過すると自動的に即湯運転は停止します。

＜運転スイッチ「切」のとき＞

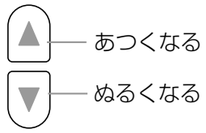
1 運転スイッチを「入」にする

現在の給湯温度（例：40℃）

※運転スイッチ「入」のときは、温度が60℃であることを確認してください。

＜一度設定すると記憶します＞

2 温度が60℃でない場合は60℃にする



※60℃に設定しなければ即湯運転を開始できません。
（手順4 の操作をすると以下の画面になりますので60℃に設定してください）

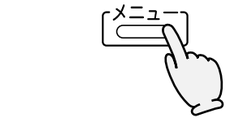
⚠警告

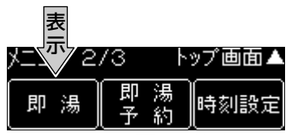
高温注意

やけど予防のために

即湯運転中は、給湯温度を変更できません。（60℃設定のままです）

3 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に 即 湯 を表示させる





＜メニュー画面（例）＞

4 即 湯 を選択する

即湯運転を開始します

燃焼中は🔥が点灯します。

即湯運転をやめたいとき

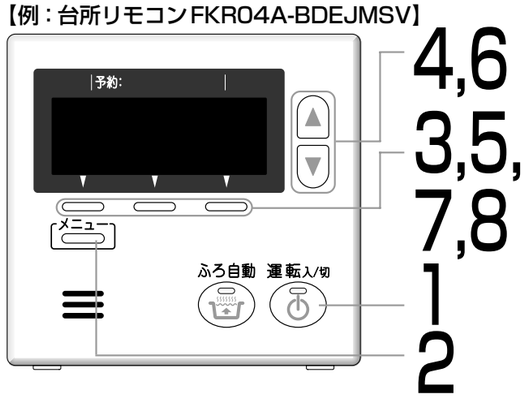
メニュー を何回か押して 即 湯 を選択する

※お湯の温度は、必ずしも60℃になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する-1

【例：台所リモコンFKR04A-BDEJMSV】



あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。（1日に合計8時間まで即湯運転が設定できます）
即湯予約を解除するまで(☞P19)、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始･停止を自動的におこないます。
※給湯配管内の保温のため、設定した予約時刻の30分前より即湯運転を開始します。

例：朝5時～朝8時の間、お湯を使いたい場合

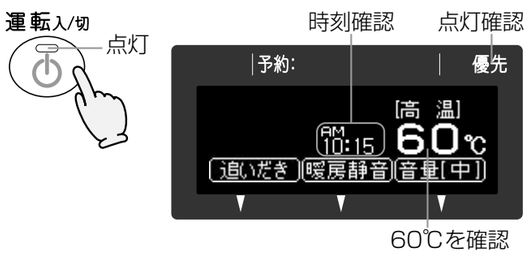
運転前の準備

1．給湯温度が60℃であることを確認する。
2．現在時刻が正しいかどうか確認する。

※給湯温度が６０℃になっていないと、即湯運転する時間帯を予約することができません。また予約していても即湯運転を開始しません。
※即湯運転中は、60℃設定は変更できませんが、即湯運転をやめると変更できます。

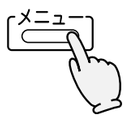
＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを「入」にする



※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

2 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に 即湯予約 を表示させる



＜メニュー画面（例）＞

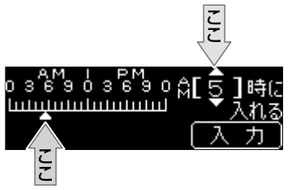
3 選択スイッチで 即湯予約 を選択する

※すでに予約時間帯を設定している場合、表示した時間帯でよければ 予約完了 を選択してください。
＜即湯予約完了＞(P18手順 8 参照)

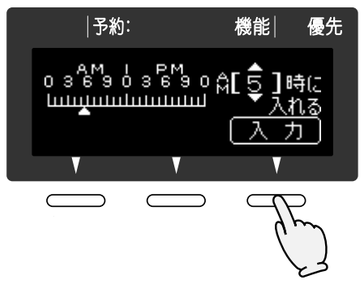
前回に設定した時間帯(例)

4 アップ・ダウンスイッチで AM[５]まで▲を移動させる

一度押すごとに1時間ずつ移動します。

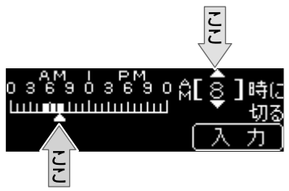


5 選択スイッチで 入 力 を選択する ＜開始時刻設定完了＞



6 アップ・ダウンスイッチで AM[８]まで▲を移動させる

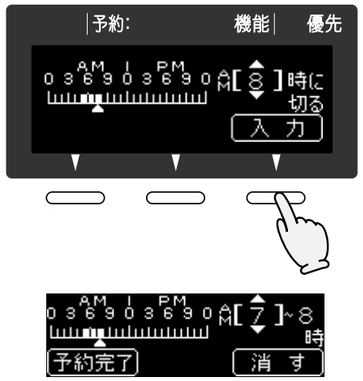
一度押すごとに1時間ずつ時間帯が入力されます。



使いかた

即湯運転する時間帯を予約する-2

7 選択スイッチで 入 力 を選択する <終了時刻設定完了>



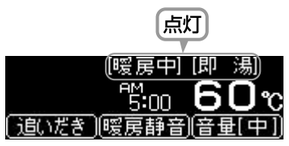
AM5時～AM8時まで即湯運転します。

8 選択スイッチで 予約完了 を選択する <即湯予約完了>

・機能 点灯。
・トップ画面に戻ります。
・予約完了 を選択しないと予約されません。
・時計合わせをしていない場合は、時計合わせの画面表示になります。(時計合わせの方法は給湯暖房用熱源機または別売品リモコンの取扱説明書をご確認ください)
・予約解除をしない限り、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

即湯運転開始

開始時刻の30分前になると即湯運転を開始します。
(運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります)



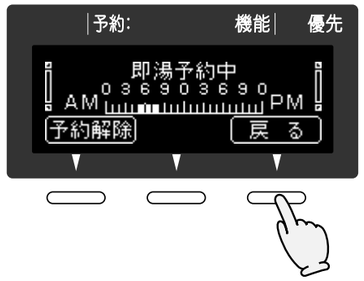
即湯運転終了

終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。

・運転スイッチは自動的に「切」になりません。

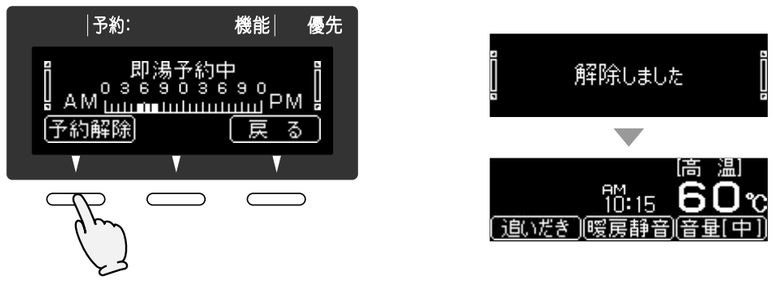
予約時刻の確認

メニュー を何回か押して 即 湯 予 約 を選択し、確認後 戻 る を選択する。(メニュー画面に戻ります)



即湯予約を解除したいとき

メニュー を何回か押して 即 湯 予 約 を選択し、予約解除 を選択する。



・機能 消灯。
・戻 る を選択するとメニュー画面に戻ります。
・予約を解除しても、設定した予約時間帯は記憶しています。
・即湯運転中に即湯予約を解除した場合、P15「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯運転を停止しない限り、即湯運転は終了しません。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順で解除してから、もう一度設定しなおしてください。

●すでに予約している時間帯を取り消すとき

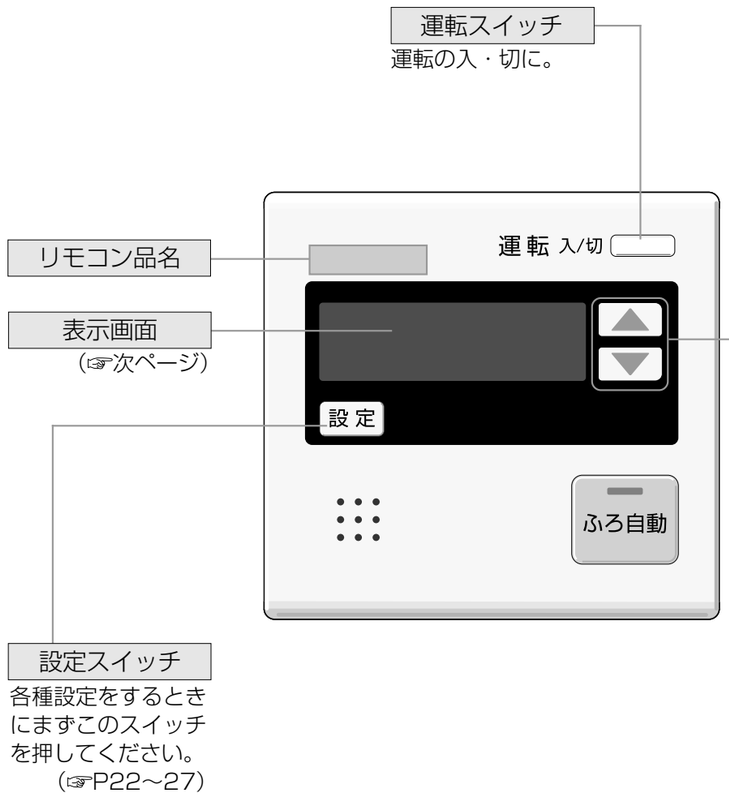
メニュー を何回か押して 即 湯 予 約 を選択し、アップ・ダウンスイッチで取り消したい時間帯の目盛りまで▲を移動し、消 す を選択すると、その時間帯(1時間ごと)の予約を取り消します。

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

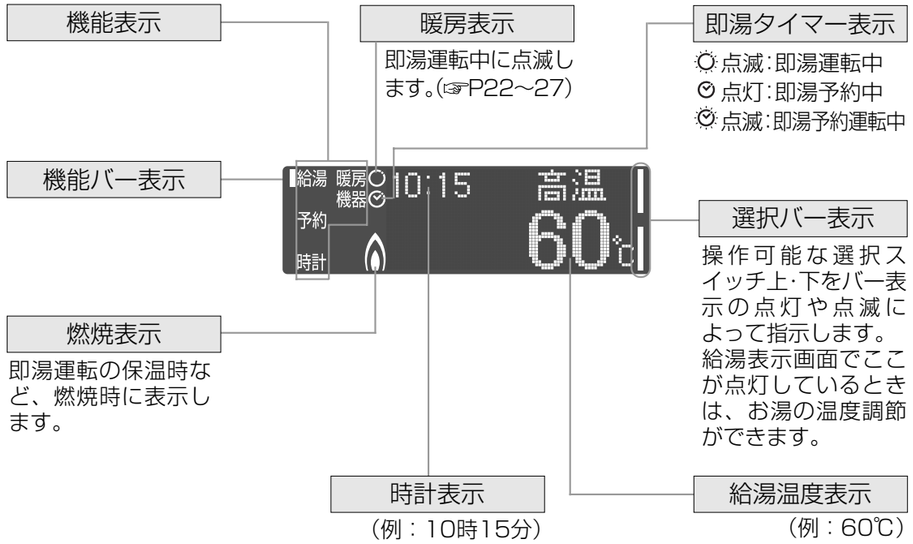
台所リモコン

FKR-A01A-BJMSVで説明します。
※即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。
※リモコンの種類により、スイッチが異なります。
即湯・即湯予約に関するスイッチ以外については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



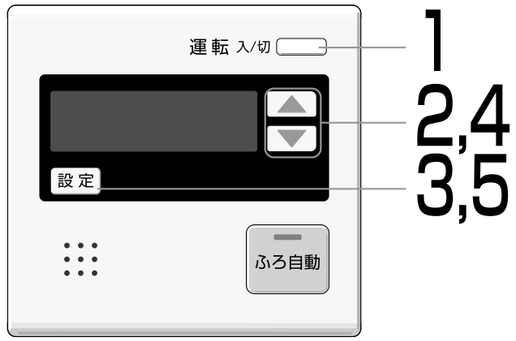
表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた
即湯運転する

【例：台所リモコン FKR-A01A-BJMSV】



＜お願い＞
即湯運転を「入」に設定してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約１時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、即湯運転する時間帯を予約してください。（☞P24～27）

即湯運転開始後、4時間経過すると自動的に即湯運転は停止します。

＜運転スイッチ「切」のとき＞　＜一度設定すると記憶します＞

1 運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 ― 点灯

現在の給湯温度（例：40℃）

※運転スイッチ「入」のときは、温度が６０℃であることを確認してください。

2 温度が 60℃でない場合は60℃にする

▲ ― あつくなる
▼ ― ぬるくなる

変更した給湯温度

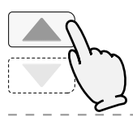
※６０℃に設定しなければ即湯運転を開始しません。
※即湯運転中は、給湯温度を変更できません。
即湯運転をやめると給湯温度が変更できます。

3 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

※60℃に設定しなければ「機器」は表示しません。

4 選択スイッチ（上）で「入」にする



スイッチを押すごとに入←→切に切り替わります

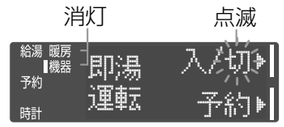
5 設定スイッチで給湯表示画面に戻す

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、**4**の段階で選択したままで確定されます。

即湯運転をやめたいとき

①設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。

②選択スイッチ（上）で「切」にする。



③設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻す。

⚠警告

高温注意

やけど予防のために

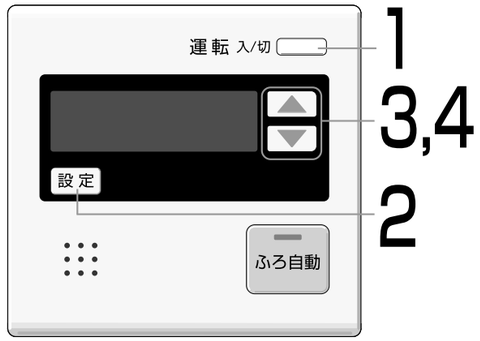
即湯運転中は、給湯温度を変更できません。（60℃設定のままです）

※お湯の温度は、必ずしも60℃になりません。目安としてお使いください。
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する-1

【例：台所リモコン FKR-A01A-BJMSV】



あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておくと、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
（1日に合計8時間まで即湯運転が設定できます）
即湯予約を解除するまで（☞P27）、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始·停止を自動的におこないます。

※給湯配管内の保温のため、設定した予約時刻の30分前より即湯運転を開始します。

例：朝6時～朝9時の間、お湯を使いたい場合

＜運転スイッチ「切」のとき＞

運転前の準備

1. 給湯温度が「60℃」であることを確認する。

※給湯温度が6 0 ℃になっていないと、即湯運転する時間帯を予約することができません。また予約していても即湯運転を開始しません。
※即湯運転中は、60℃設定は変更できませんが、即湯運転をやめると変更できます。

2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

予約時刻（即湯運転開始時刻）の30分前に即湯運転を開始するため、30 分前までには予約してください。

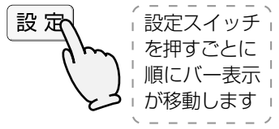
1 運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 — 点灯

点灯確認

※運転スイッチ「入」の場合は、表示画面の選択バー表示が点灯していることを確認してください。
点灯していないときは、運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にしてください。
（このとき、運転が停止しますのでご注意ください）

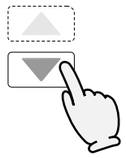
2 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする



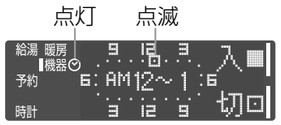
※60℃に設定しなければ「機器」は表示しません。

（次ページへ）

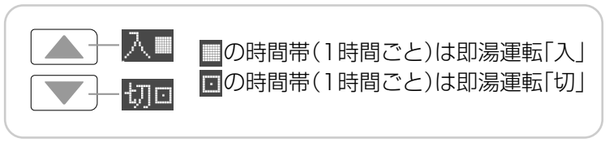
3 選択スイッチ（下）で「予約」を選択する

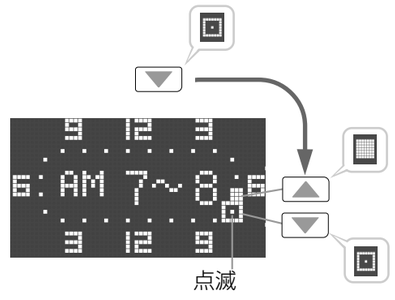


予約時間帯の入力画面になります。



4 選択スイッチ（下＝切□）を押し進めて行きAM6～7で選択スイッチ（上＝入■）を押す

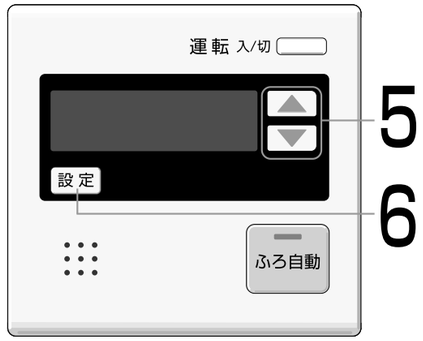




AM6～7時が即湯運転「入」の設定になります。

使いかた

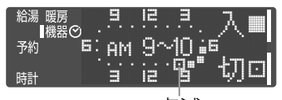
即湯運転する時間帯を予約する-2



（前ページより）

5 続けてAM8～9まで選択スイッチ（上＝入）を押す

AM6時～9時まで即湯運転が「入」の設定になります。



※1日に合計8時間まで即湯運転が設定できます。

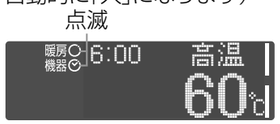
6 設定スイッチで給湯表示画画面に戻す

※設定スイッチを押し忘れた場合でも、しばらく放置すると確定し、給湯表示画面に戻ります。

現在時刻を合わせていない場合は、次に時計合わせの表示に変わります。（時計合わせの方法は給湯暖房用熱源機または別売品リモコンの取扱説明書をご確認ください）

即湯運転開始

開始時刻の30分前になると、即湯運転を開始します。（運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります）



即湯運転終了

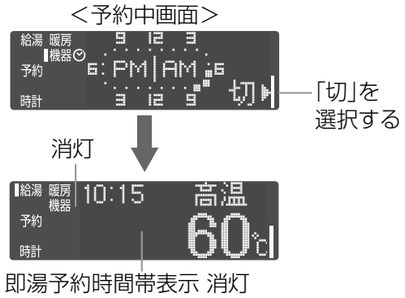
終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。

・運転スイッチは自動的に「切」になりません。

即湯予約を解除したいとき

①操作手順 **1** ～ **2** をおこない、予約中画面にする。

②選択スイッチ（下）で「切」を選択する。



※予約を解除しても、設定した予約時刻は記憶しています。

※即湯運転中に即湯予約を「切」にした場合、P23「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯を「切」にしない限り即湯運転は終了しません。

予約時刻の確認

操作手順 **1** ～ **3** をおこない、確認後、設定スイッチを押す。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

凍結による破損を予防する

お願い

＊暖かい地域でも、即湯ユニット内や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
＊凍結により即湯ユニットが破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

即湯ユニット内は凍結予防ヒーターとポンプ循環(給湯回路のみ)で自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します）

＊凍結予防ヒーターでは、給湯往き・戻り配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください）

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意

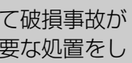
高温注意

即湯運転直後やお湯の使用後は、即湯ユニット内のお湯が高温になっていますので、即湯ユニットが冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

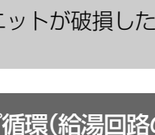
・即湯ユニットの下に容器などを置いて排水を受けてください。

※給湯暖房用熱源機の水抜き操作をおこなう前に、以下の方法で即湯ユニットの水抜きをおこなってください。

1 給湯暖房用熱源機の給水元栓を閉める。
（給水元栓の位置☞給湯暖房用熱源機の取扱説明書「各部のなまえとはたらき」）



2 すべての給湯栓を全開にする。
＊サーモスタット式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定する。



3 即湯ユニットの給湯水抜き栓1〜3を左に回して開ける。（右ページイラスト参照）

4 給湯暖房用熱源機のフロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているか確認する。
＊「不凍液が入っています」というラベルがある場合 ･･･ **5**の操作は必要ありません。
6の操作からおこなってください。
＊上記以外の場合（不凍液が入っていない場合）･･･････ **5**の操作をおこなってください。

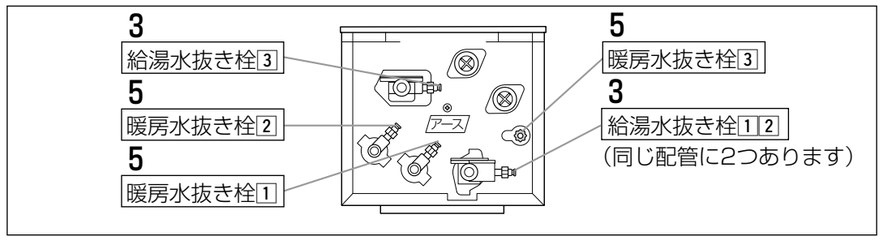
5 即湯ユニットの暖房水抜き栓1〜3を左に回して開ける。（右ページイラスト参照）

6 1）リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2）即湯運転をする。
＜FKR07シリーズ，FSRA07シリーズをお使いの場合＞
P6〜7の手順で即湯運転する。
＜FKR04シリーズをお使いの場合＞
P14〜15の手順で即湯運転する。
＜FKR-A01シリーズ，FSR-A01シリーズをお使いの場合＞
P22〜23の手順で即湯運転する。
3）リモコンに故障表示《638》を表示するまで１分程度待ち、表示したら、5分程度そのままにする。
（この場合《638》は異常ではありません）

7 完全に排水されたことを確認したら、即湯ユニットのすべての水抜き栓(6か所)、すべての給湯栓を閉める。

8 リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

＜下から見た図＞



再使用のとき

＊即湯ユニットのすべての水抜き栓が閉まっていることを確認してから、給湯暖房用熱源機の取扱説明書「凍結による破損を予防する」の「再使用のとき」の操作をおこなってください。
＊即湯ユニット本体や配管から水漏れがないかよく確認し、給湯栓を開いて、充分お湯を出してから使用してください。
＊配管内に空気が残っていると、リモコンに故障表示《638》を表示することがあります。その場合は、給湯栓より充分お湯を出した後、いったん運転スイッチを「切」にし、再度「入」にしてから使用してください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

連絡していただきたい内容

- **製品名** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ FソクトウユニットB-1
- **お買い上げ日** ・・・・・・・・・・・・・ 保証書をご覧ください
- **異常の状況** ・・・・・・・・・・・・・・・ 症状など、できるだけくわしく
- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **訪問ご希望日**
- **給湯暖房用熱源機の品名** ・・・ 給湯暖房用熱源機の銘板をご覧ください

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

主な仕様

製品名			FソクトウユニットB-1
型式名			QU-3
加熱能力〈kW〉（暖房流量：2L/分 給湯流量：4L/分）	給湯戻り温度	5℃	3.78，2.17号
		37℃	2.33，0.73号
		60℃	1.28，0.73号
熱源〈L/分〉			暖房用温水２（80℃）
加熱方式			暖房温水を利用した間接熱交換器による加熱
給湯温度制御方式			ポンプ、熱動弁ON/OFF制御
設置方式			屋外壁掛・屋内壁掛設置形
使用水圧〈kPa〉			100～1000（1.0～10kgf/㎠）
外形寸法〈㎜〉			高さ344×幅252×奥行220
質量（本体）〈kg〉			8.2
接続口径	給湯往き		R1/2
	給湯戻り		R1/2
	温水入り		φ7樹脂管用差込ジョイント
	温水出		φ7樹脂管用差込ジョイント
電気関係	電源		AC100V（50/60Hz）
	消費電力(50/60Hz)〈W〉		40／45
			凍結予防ヒーター 70
安全装置			過電流防止装置、漏電安全装置

保 証 書

品　名	**即湯ユニット** ＦソクトウユニットB-1

型式名	QU-3

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体(リモコン含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　ポンプ …… 3年
　電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ) …… 5年
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
　(1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
　(2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
　(3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
　(4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
　(5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
　(6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
　(7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
　(8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
　(9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
　(10)指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
　(11)給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
　(12)温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
　(13)本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　**東京ガス株式会社**　〒105−8527　東京都港区海岸１丁目５番20号

保証責任者　**株式会社ノーリツ 東京支社**　〒163−0237　東京都新宿区西新宿２丁目６番１号

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販 売 店		扱者印	
住　　所			
電話番号			

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆